



# おかやま環境ネットワーク

NO.72  
2013.7

# NEWS

発行:公益財団法人おかやま環境ネットワーク  
〒700-0026 岡山市北区奉還町1-7-7  
TEL/FAX 086-256-2565  
E-mail:kankyounet@okayama.coop  
HP:http://www.okayama.coop/kankyounet/

## 体験プログラム①開催報告

実際に干潟の中に入り、そこに棲むいきものたちと触れ合うことで、五感を通して豊かな「多様性」を感じるとともに、自然環境について考え、姿を消しつつある「干潟の役割」や「水の中の命のつながり」について考えるきっかけをつくることを目的に開催しました。

当日は、漁船で高島に渡り、いきもの採集体験とその解説、干潟の役割などについて学びました。

- ①. 日程：5月6日(月) 13:00～16:00
- ②. 場所：児島湾高島干潟（新岡山港南の小島）
- ③. 講師：齋藤達昭氏（岡山理科大学理学部准教授）、吉鷹一郎氏（関西高校教諭）
- ④. 参加合計：80名
- ⑤. 主催：(公財) おかやま環境ネットワーク、旭川源流大学実行委員会、協力：岡山理科大学環境教育地域支援研究会、岡山野生生物調査会



### 【参加者アンケートより】

・自然にふれることのない生活が多く、今日は子どもにとってはじめての体験でした。最初はいきものを触ることができなかったのが、終わる頃には手にとって笑っていました。いきもののいきている姿を見て、触れることができ、貴重な体験ができました。

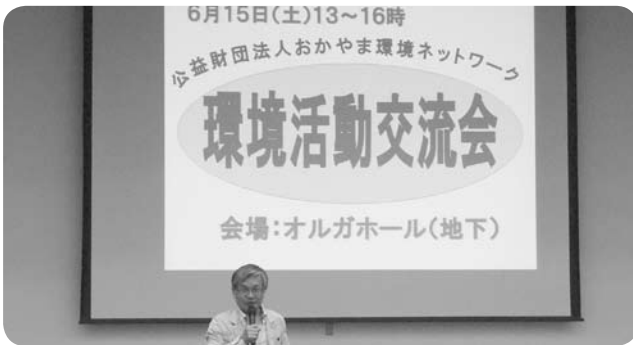


- ・高島の干潟はいきもの大切なすみか、鳥や魚たちのエサ場。旭川、児島湾の水の浄化には絶対なくてはならないと思いました。この大切な干潟を、自分自身、守っていかなくてはと思いました。
- ・いきもの大切さやいき方がよく分かりました。泥にはまったりしたけど楽しかったです。また来たいです！大学生のお兄さんやお姉さんに優しく教えてもらってよかったです！
- ・滅多に見ることのできない貝や魚を学ぶことができ、楽しかったです。
- ・旭川河口の高島等が気になっていましたが、今回参加してみて、下流域のことをもっと気にして生活しようと思いました。子どもにもいきた観察のみならず、環境の大切さやそれを支える人々の情熱が伝わったと思います。
- ・カニの種類の多さに驚くと共に、自然の豊かさに感動しました。自分の住む場所の近くにこんなに自然豊かな所があることを教えてくださいありがとうございます。久々に自然に触れ、これらを守っていかないといけないと自覚できました。

## 『環境活動交流会』

県下で環境活動を行う団体や個人が集い、日ごろの活動を紹介してさらなる活性化、相互のネットワーク形成をめざし開催しました。

前半を2012年度助成団体からの報告と、おかやま環境ネットワーク役員からの講評、後半はいろいろな実践事例を紹介し、これまで出会ってなかった人、団体、取り組みなどとつながる“ネットワークづくりの場”となることをめざし、参加者間の情報交換をすすめました。



開会挨拶: 青山勲・代表理事

- ①. 日時: 6月15日(土) 13時~16時
- ②. 会場: オルガ地下ホール
- ③. 参加: 61名
- ④. 内容

1) 助成団体から活動報告があり、その後おかやま環境ネットワーク役員からそれぞれの報告に対し講評がありました。

- ・里海づくり研究会議「ミニシンポジウム 日生を里海に」
- ・おかやまエコマインドネットワーク「食とエネルギーの地産地消を考える」
- ・中学高校環境研究会「第3回旭川源流大学 in 津黒高原」
- ・あかいわ美土里の和「里山再生プロジェクト」
- ・おかやまコープ美作エリア「バイオマスって知ってる?」
- ・千年の森づくりグループ「千年の森の管理・保育事業と美咲の森完成記念のつどい」

※講評担当役員: 野上理事、白井理事、日野評議員、伊藤評議員、井勝理事、檜山評議員、青山代表理事



- 2) 休憩時間を利用し、会場内の団体紹介ブース交流をすすめました。
- 3) おかやま環境ネットワークの年間事業を紹介しました。
- 4) 事例紹介として、以下の報告がありました。
  - ・岡山の自然を守る会「まちなかボトルで活きる“大都会”おかやま」
  - ・(株)ハウジング山陽「協働の森づくり“伊部つながりの森”活動紹介
  - ・特定非営利法人岡山環境カウンセラー協会「東日本大震災復興支援活動」

### ◆参加者感想

- ・参加団体の取り組みが嬉しかったです。いくつもの人々の事業が支えあい、絆が深まることを願います。多くの人からエネルギーをいただき、地球・森・川・海はひとつだと思います。活動へのアドバイスが嬉しかったです。
- ・自然を1つ1つ分けるのではなく、全てつなげてトータルで考えることの大切さがよく分かりました。私たちの活動は環境に興味のない一般の方への入り口として意味があったなと改めて感じられてよかった。
- ・様々な団体がどのような活動をしているのか実際に報告をきいて、また展示をみて知ることができました。それぞれが色々な方向で環境を良くしようと真剣に取り組まれていて素晴らしいと思いました。これらの活動をもっと多くの人に知っていただきたいと思いました。



## 『TPP 関連学習会』

～ TPP 参加は日本の農業、食の安全、環境に  
どのような打撃をもたらすか～

- ①. 日時：5月11日(土) 13～15時
- ②. 会場：オルガスカーレット
- ③. 講師：宇野忠義・弘前大学名誉教授
- ④. 参加：18名



宇野忠義・弘前大学名誉教授

TPP の概要、経済・政治的背景について解説されました。

TPP は参加国間の貿易や投資を自由化する枠組みであり、「農業、医療や金融など広く障壁を無くす究極の自由化。安い労働力や商品の流入で国内産業や地域経済は壊滅的打撃を受ける」と警告。「食料の輸入依存度が高まり、自給率低下が進む。衛生植物検疫措置や残留農薬基準の緩和で食の安全や外来病害虫の排除なども崩壊する恐れがある」と。さらに、「保険、金融など諸サービス業にも大きな影響を及ぼし、公共事業・サービス調達の開放と投資者の国家提訴権により、外国資本が公共政策や制度を壊すことが心配される」とし、TPP の真実が知らされないまま、また、国民の議論、理解が得られないまま、参加が決定されることは、後世に甚大な禍根を残す」と指摘されました。

### ◆参加者感想

- ・ TPP の狙いがわかり、日本の未来がみえる話でよかったと思います。
- ・ TPP の本質が聞け、参考になりました。ただもう少し体系的に聞ければもっとよかったと思います。
- ・ 内容の濃い学習会であったと思う。
- ・ 体系的に説明され、資料も豊富だったので、よく理解できました。

## 体験プログラム④

### 『アマモ種まき体験』

～定植後の観察会～

- ①. 日時：6月17日(月) 10～12時
- ②. 場所：見崎公会堂（笠岡市）と近隣海岸
- ③. 講師：森中憲次・神島見崎里浜づくり代表
- ④. 参加：16名（定員：16名）

2012年10月に「育苗キットの製作体験」を、また、2013年1月に「アマモ苗定植体験」を体験プログラムとして開催しましたが、その継続企画として、アマモ定植後の観察を漁船に乗り観察した後、公会堂でアマモの役割や自然環境について学びました。



船上観察

### ◆参加者感想

- ・ 自分達が種を植えて育てて定植したアマモが、海の中でユラユラしている姿を見ることができ感動しました。もっともっと増えて欲しいなと思ひ、今後も市民として関わっていきたいです。
- ・ アマモを実際に目で見たことはとてもよかった。森中さんのお話から思いが伝わってきました。知らない事ばかりで、地道な活動に頭が下がります。
- ・ 普段なかなかできないことをさせていただいて、とてもよかったです。年間を通して様々な作業があり、大変だと思います。ぜひお手伝いできることがあればやってみたいと思います。



## 『海のゆりかごアマモの 恵み 2013』

- ①. 日時：6月29日(土) 10時～12時15分
- ②. 場所：オルガ地下ホール
- ③. 参加：70名
- ④. 主催：生活協同組合おかやまコープ 他



会場の様子

### ⑤. 概要

瀬戸内でのアマモ場再生活動へのつながりを強め、アマモ場再生活動の輪を広げていくことをめざし、活動に関する団体、個人が集まり交流する場を持ち、今後のアマモ場再生の広がりにつながる取り組みをすすめました。

### 【ご報告いただいた皆様】

- ・日生町漁協・天倉専務「日生かきを育むアマモ場再生活動」
- ・岡山県農林水産部水産課「日生町におけるアマモ場造成の取組について」
- ・里海づくり研究会議・田中事務局長「アマモ場の役割と機能」
- ・笠岡市立神内小学校児童「学校の環境学習で行なっているアマモを育てる取り組み」
- ・NPO 法人共存の森ネットワークの大学生「共存の森の聞き書き甲子園の活動紹介」
- ・おかやまコープ倉敷エリア・西山さん「里海づくりに関わって」

途中に、参加者全員でアマモに関するクイズ大会がありました。また、上記報告後、グループ交流と各グループで話し合ったことや質問の発表とその回答があり、交流をすすめました。

## 『市民学習講座』

～瀬戸内海岡山県沿岸における  
水環境の実態とその維持、改善方策～

- ①. 日時：6月29日(土) 13時30分～14時45分
- ②. 場所：オルガスカーレット
- ③. 講師：奥田節夫・京都大学名誉教授、NPO 法人里海づくり研究会議理事長
- ④. 参加：21名



奥田 節夫氏

### ⑤. 概要

『岡山県沿岸における水環境、海岸災害（高潮、津波）の実態』をテーマに、瀬戸内海の特徴や様々な実態、地震・津波の発生などについての解説がありました。

### ◆参加者感想

- ・瀬戸内海特有の潮位・水温の変化、場所による違いがよく分かり「知る」ことが大切だと思いました。「人間の努力により、瀬戸内海の水質が改善される」との先生の話とつながって、私たちの努力の成果との関わりがわかり、参加してよかったです。
- ・季節、月齢その他での潮位の変化、瀬戸内海でも場所による違いなどがよくわかりました。
- ・瀬戸内海の特徴がよくわかりました。恵まれた環境にあることに感謝しつつ、地震・津波には日頃から備えて、もし万一起こったら冷静に対応できるように心掛けたいと思いました。

※本講座の概要をまとめた寄稿を、次回11月号ニュースに掲載する予定です。



白石 齊 会長

あかいわ「美土里の和」



～うさぎ追いしかの山あ～  
～どんぐりコロコロどんぶりこ～

此処に歌われているような風景を、現在、私たちの近くで目にすることはできなくなりました。近在の山々も、遠くから眺めていると緑の美しい自然の風景と感じられますが、そこに入ろうとすると、篠竹や羊歯やカズラに覆われて、ジメジメと暗く、湿っていて入口さえみつきりません。このような場所には、林業に携わるような方々は決して近づいてくれません。



着工前 H.23年5月頃

でも、小さなスペースでもいい、地面の上に陽光がとどき、木の実が拾え、草花が咲き、茸が生える、そして何よりも子供たちが駆け回って自然に親しめる、そんな場所が欲しい。こんなささやかな願いから、この「あかいわ美土里の和」が誕生しました。

2年前に、赤磐市の桜が丘東の住宅街に隣接する場所に、標高が150mから200m位の山が3kmばかり連なった、市の所有地を借りて会員を募り、持ち慣れない鎌や鋸を手に、まったく素人の私たち市民が作業を開始しました。

マムシやスズメバチを恐がりながら藪を切り開き、先ず、頂上までの道作りから始めました。1本の登山道が出来ると、会員たちの間に小さいながら達成感が生まれました。

市民の方々に自然を少しでも理解して頂くために、講師を招いての「自然観察会」を開きました。次には、岡山理科大学学長の波田善夫先生を招いて「シンポジウム」を開きました。

その後、登山道も2つのルートが加わり、少しずつですが樹林の間に日差しが届く場所が増えてきました。会員たちも、この山に対して親しみを感じて来たのでしよう、元旦には「初日の出を見る会」や、「ツツジのお花見の会」なども開催されました。

この時期にネットワークの助成を受けることができました。

その後は、ハイキングコースのルートの延長を主にしながらも「自然観察会」は定期的に続け、「親子で動植物を描く」ワークショップや、そこに生えている植物を使った「木工工作」や「お茶づくり」「紙すき体験」「草木染め体験」「キノコ汁作り」などなど矢次早に開催して来ました。



H.24年7月スケッチの集い

そして第2回目のシンポジウムには、就実大学理事長の千葉喬三先生をメインゲストに迎えて「里山今昔」と題した森の歴史とも云うべき「植物遷移」について丁寧に教えて戴きました。そして、理性が発達する前に（大体10歳頃まで）感性を養うことの大切さ、それには、何よりも「自然と親しむことが大切である」と云うお話などなど学ぶべきことの多さとともに、生物の多様性の大切さ、そして、人も多様でさまざまな人材がある社会こそ健全な社会であることを学びました。



H.25年3月現在の里山

そして嬉しい事に、5月31日には桜が丘保育園の園児たちが健脚遠足で、団体での初登山が実行されます。

美土里の和では、この時のシンポジウムの講演、及び討議の内容を冊子にまとめましたので、関心のある方は「あかいわ美土里の和」事務局まで申し出てください。

白石 齊 氏

陶芸家 啐啄工房  
あかいわ美土里の和会長  
工悦邑（芸術家村）村長

おかやま環境ネットワーク公益財団法人移行記念事業・2013年度第5回体験プログラム



# 『宇甘川いきもの調査会』

～自然豊かな御津の清流・宇甘川流域でのいきもの調査です！～

自然豊かな御津の宇甘川流域は、清流の妖精アカザ、鮎、タナゴ類など驚くべき種数を誇る淡水魚の宝庫です。また、カゲロウなど珍しい水生昆虫の生態を観察し、そこに棲む生物たちと触れ合うことで、自然環境の大切さを実感し、環境保全の大切さを考えるきっかけをつくることを目的に開催します。奮ってご参加ください！！

## 参加者募集 ※下記要項は予定ですが お申しいただいた方には、別途詳細案内を郵送します

- ◆日時：10月27日(日) 9時00分～16時00分(予定)
- ◆行先：宇甘川・大野川流域(岡山市北区御津)
- ◆内容：生き物調査、自然調査など
- ◆講師：斉藤達昭氏(岡山理科大学理学部准教授) 淡水魚研究会(打診中)
- ◆定員：50名(バスで移動します)  
※応募者多数の場合は抽選、おかやま環境ネットワーク個人会員を優先します。参加の可否は郵送で連絡します(当選者には詳細案内を郵送します)。
- ◆申込：10月4日(金)までに下記参加申込書を郵送、FAX、Eメールのいずれかでお申しください。申込後のキャンセルはご遠慮ください。
- ◆応募資格：小学3年生以上の方、未成年者は保護者同伴、大人のみ参加可。応募者多数の場合抽選。参加の可否は郵送でご連絡します。
- ◆参加費：1人500円(年齢関係無)、おかやま環境ネットワーク個人会員並びに同居家族は無料(年会費：2,000円)

アカザ  
*Liobagrus reinii*



- ◆スケジュール予定  
※交通事情等により時間は前後する場合がありますので、予めご了承ください  
※参加予定者へ別途詳細案内を郵送します
- オルガ集合 8:45～オルガ前で受付  
⇒岡山市北区奉還町1-7-7、岡山駅西口から北へ徒歩約5分  
・10:00 宇甘川いきもの調査  
※三谷橋下河川敷スタート(徒歩で移動)  
・昼食 ※各自持参 地元の「いのししカレー」(事前要予約500円)も準備可能
- ・13:00 自然調査のまとめ
- ・15:00 現地出発
- ・16:00 オルガ着予定・解散
- ◆主催：公益財団法人おかやま環境ネットワーク 旭川源流大学実行委員会 宇甘川生き物調査プロジェクト世話人会

### ◆お申込み：公益財団法人おかやま環境ネットワーク

〒700-0026 岡山市北区奉還町一丁目7-7(オルガ6階)  
Tel・Fax:086-256-2565  
E-mail:kankyounet@okayama.coop

※お預かりした個人情報、本事業以外には使用いたしません。

切り取り線

### 『宇甘川いきもの調査会』参加申込書

代表者	フリガナ氏名	年齢	歳	電話番号		
	おかやま環境ネットワークの個人会員ですか		はい・いいえ		いのししカレー	要( )ケ・不要 ※1ケ500円
	住所 (〒 - )					
	フリガナ氏名	年齢	歳	フリガナ氏名	年齢	歳
	フリガナ氏名	年齢	歳	フリガナ氏名	年齢	歳

ほたるの乱舞をめざして  
**第11回おかやまホタルフォーラム**

県内でホタルの保護、復活、再生をめざし活動している団体の報告や美作市「ほたる条例」の制定に関する情報提供をとおり、自然環境保全活動の交流をすすめます。地元「柵原ホタルを守る会」が保全に取り組む現地視察も行ないます。

ホタルに関心のある方どなたでも参加できるフォーラムです。是非ご参加ください。

- ◆日 時：11月9日(土) 10時～12時 (現地見学：13時～14時・現地解散)
- ◆会 場：南和気荘 (久米郡美咲町藤田上 357)、現地見学：美咲町内甲和気川、乙和気川  
 ⇒久米郡美咲町藤田上 357 (「ザ・オークレットゴルフクラブ」近隣)  
 「ザ・オークレットゴルフクラブ」の看板を目印にお越しください。
- ◆参加費：300円、昼食代 (必要な方)：700円
- ◆内 容 (予定)
  - ・開会挨拶：美咲町町長・定本一友さん (依頼中)
  - ・取組報告①：大山川を守る会・難波敏範さん
  - ・情報提供：有本直紀さん・美作市田園観光部商工観光課係長「ほたる条例について」
  - ・取組報告②：柵原ホタルを守る会・畝本さん
  - ・質疑応答
  - ・その他会場内での各団体資料配布、パネル・写真等展示
 ※希望者のみ 12時～昼食交流、13時～現地見学：甲和気川・乙和気川視察 (現地解散)
- ◆主 催：公益財団法人おかやま環境ネットワーク、柵原ホタルを守る会  
 生活協同組合おかやまコープ美作エリア委員会
- ◆後 援：美作市、美咲町 (申請中)



◆お申込み：公益財団法人おかやま環境ネットワーク  
 〒700-0026 岡山市北区奉還町一丁目7-7 (オルガ6階)  
 Tel・Fax:086-256-2565  
 E-mail:kankyounet@okayama.coop

切り取り線

**おかやまホタルフォーラム参加申込書**

FAX/TEL 086-256-2565 (FAX・E-mail・郵送でお申込みください) ※10月30日(水) 必着

参加者	氏名		弁当	※○を付けてください 要・不要
	E-mail			
	電話		FAX	
	住所	〒		
参加者	氏名		弁当	※○を付けてください 要・不要
	E-mail			
	電話		FAX	
	住所	〒		
参加者	氏名		弁当	※○を付けてください 要・不要
	E-mail			
	電話		FAX	
	住所	〒		

## くらしの中の 気になる数字

### 日本の食品廃棄物

消費者庁の調べによると、現在、日本では年間約1,800万トンの食品廃棄物が排出されています。このうち、食べられるのにも関わらず廃棄されている食品である『食品ロス』は年間約500～800万トンにも昇ります。

資源は限りあるものです。食品ロスを出し続けていると、調理の際に使用するエネルギーや自然環境への影響が懸念されます。

食品ロスの約半分は家庭から出ています。家庭の食事だけでも、一人当たりの食品ロス量を試算すれば、一年間で約15キログラムに及び、60回分の食事分に相当します。

## 環境家計簿レポート発行 (同封)のお知らせ

おかやま環境ネットワーク環境家計簿委員会と岡山市とで協働ですすめています「環境家計簿」の2012年実績をまとめた『環境家計簿レポート』ができあがりましたので、会員の皆様に1部同封しています。ご覧ください。

## ネットワークニュースへ 寄稿を

団体会員、法人会員の皆様の紹介をしています。原稿をお寄せください。お待ちしております！

お気軽にお問合せください。

## メールニュース会員 募集中

おかやま環境ネットワークの情報や、会員団体のイベント情報等を掲載しています。配信希望の方はメールにて、件名:『メールニュース配信希望』とし、メールアドレス・お名前(必須)、所属団体・会社名(任意)を送信してください。

現在約800名にご登録いただいています。

## 2013年度第3回 体験プログラムご案内

### 瀬戸内海岡山県沿岸における 水環境の実態とその維持、改善方策

#### ●日程・テーマ・講師

◇7/27(土)「河口、沿岸における藻場、干潟の変遷とその維持、保全計画」田中丈裕・NPO法人里海づくり研究会議理事

◇8/10(土)「貝殻利用による水産環境の改善効果」鳥井正也・岡山県農林水産部水産課

#### ●会場：オルガ5階スカレット

#### ●時間：13時30分～15時30分

#### ●受講料：無料

●必ず事前にお申込みください。  
定数(40名)を超過し参加いただけない場合のみ連絡します。

## 市民のための環境講座 ご案内

#### ●日程・会場・テーマ・講師

①7/27(土)10時～12時・オルガ地下「里海とは 人と海のつながり」松田治・広島大学名誉教授

②8/10(土)10時～12時・オルガ地下「里海の生き物たち～海の幸の生態おもしろ話」鷺尾圭司・独立行政法人水産大学校理事長

③9/7(土)10時～12時・オルガ地下「岡山県日生の歴史が育んだ里海像」清野聡子・九州大学大学院工学研究院准教授

④10/12(土)10時～12時・日生町漁協「市民のための里海創生論」柳哲雄・九州大学応用力学研究所教授

⑤9/28(土)10時～12時・オルガ5階「環境問題を捉える視点」井勝久喜・吉備国際大学国際環境経営学部長

⑥10/26(土)13時～15時・オルガ5階「原子力発電と放射能問題」青山勲・岡山大学名誉教授

⑦11/30(土)10時～12時・オルガ5階「岡山県下の水環境の現状を知る」野上祐作・岡山理部教授

⑧12/14(土)13時～15時・オルガ5階「生物多様性の意味について」伊藤國彦・岡山県立大学名誉教授

⑨1/25(土)10時～12時・オルガ5階「人間活動が地球に与える影響」白井浩子・元岡山大学准教授

#### ●受講料：無料

●必ず事前にお申込みください。  
定数(①～④：100名、⑤～⑨：40名)を超過し参加いただけない場合のみ連絡します。

※開催時間、会場が異なりますので、ご注意ください。

## 会員 募集中

おかやま環境ネットワークは、皆様からの会費、寄附、ボランティア活動で支えられています。ぜひ会員となり、活動をご支援ください。

#### 【年会費】

個人・団体：2,000円

企業等：20,000円

学生：無料(大学生、大学院生、高校生、就職時は対象外)



.....  
 2013年度会費をまだ納付していない会員の皆様に振込用紙を同封しております。  
 お振り込みくださいますようお願いいたします(入れ違いでお振り込みいただいておりますらご容赦ください)。  
 会費は、企業・協同組合：1口2万円、団体・NPO法人・個人：1口2千円、1口以上をお願いいたします。  
 .....

#### ■お問い合わせは

公益財団法人おかやま環境ネットワーク

〒700-0026

岡山市北区奉還町1-7-7(オルガ6階)

TEL/FAX 086-256-2565

E-mail: kankyounet@okayama.coop

HP: http://www.okayama.coop/kankyounet/